

留学だより No. 5

こんにちは。フィリピンのセブシティーに留学中の16期、栗本です。
今回もフィリピンの学校生活を伝えていきます！

【キリスト教の幼稚園訪問】

学校のキリスト教の授業のグループ課題で、キリスト教の仕事に従事している方にインタビューをするという課題がありました。私たちのグループは、幼稚園で働いている修道女の方にインタビューしました。修道女になると、教会(彼女の場合は幼稚園)から出られなかったり、結婚できなかったりと、生活を宗教に捧げるためにいろいろな制限があります。だから、とても遠い存在に感じていました。でも、インタビューをしてみて、幼少期の話や、教会という場所の美しさにあこがれた話、修道女になる前は結婚をする予定だった相手がいた話などを聞いて、自分が持っていた窮屈なイメージは少し違ったなと思いました。人生を神様と関わるために捧げる選択を自らした彼女がとてもカッコいいなと思いました。写真の真ん中の方が修道女の方です。



【AFS ミッドステイオリエンテーション】

セブ島の近くの島に留学している留学生が私の街に集まってオリエンテーションが開催されました。私は島にたった一人の留学生で、この時に初めてほかの国の留学生と会いました。今まで、私から見たフィリピンしか感じられなかったけれど、このオリエンテーションで、ほかの国の人から見たフィリピンをたくさん知ることができ、とても楽しかったです。



【イントラミューラル】

日本の文化祭的なものが、フィリピンではイントラミューラルという名前で開催されます。私は、ダンスパラバスに参加して、仲間と一緒にイカゲームのダンスをしました。本番の3日前から練習が始まって、ばたばたでふりを覚えてフォーメーションを決めました。3日間ずっと一緒に練習したチームメイトと1位を獲ることができました。とても嬉しかったです。留学の中で濃い、思い出の深い3日間でした。文化祭の最終日には、カラーワーというイベントがあって、色のついた粉を校庭でいろんな人とかけ合いました。

